

10 2017

E-mail kobun@hera.eonet.ne.jp

http://www.doctors-attention.com/

●発行人/西本虎文●発行所/〒665-0011 宝塚市南口1-11-4 株式会社協同企画サービス Tel.0797-78-1875

●平成29年10月1日発行●通巻第447号●発行日/毎月1日●一部定価300円●印刷所/株式会社島之内印刷所

©不許転載

ドクターズアテンション

検索

ドクターズアテンションが
ネットで読めます。

Doctor's Attentionは独立した機関です。

毎月ドクターズアテンションは国会図書館、中之島図書館に保存されています。

信頼でつなぐ
You&I

新しい医療文化の創造

Doctors' Attention

ドクターズアテンション 関西・首都圏版



近畿大学



大阪市立大学



大阪府立大学



関西医科大学



神戸市看護大学



神戸大学
大学院医学研究科



兵庫医科大学

文部科学省 平成29年度研究拠点形成費等補助金

「7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン」始動に関する 第1回プロジェクト統括会議&協定書調印式 開催される

(左より) 近畿大学医学部 教授 中川 和彦 大阪市立大学大学院 医学研究科長代行 日野 雅之
大阪府立大学大学院 看護学研究科長 上野 昌江 関西医科大学 学長 友田 幸一 近畿大学 医学部長 伊木 雅之
近畿大学 学長 塩崎 均 近畿大学 薬学部長 岩城 正宏 近畿大学 理工学部長 藤原 尚
神戸市看護大学 学長 鈴木 志津枝 神戸大学大学院 医学研究科長 的崎 尚 兵庫医科大学 学長 野口 光一

(P2)

文部科学省 平成29年度研究拠点形成費等補助金 「7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン」始動に関する 第1回プロジェクト統括会議&協定書調印式 開催される

近畿大学（大阪府東大阪市）、大阪

市立大学、大阪府立大学、関西医科大学、神戸市看護大学、神戸大学、兵庫医科大学の7大学は、同じ疾患でも一人ひとりの体質に合った医療を提供する「個別化医療」を実践するため、事業推進代表大学である近畿大学を中心に、「7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン」を始動します。始動にあたり9月19日（火）、スイスホテル南海大阪にて、各大学代表者による第1回プロジェクト統括会議並びに協定書調印式が行われました。

ン※」の推進

※プレジジョン・メディスン（精密医療）…患者の個人レベルで最適な治療法を分析・選択すること
●ゲノム医療の実用化にかかせない「遺伝力ウンセラ」養成課程」を新たに開講

7大学連携先端がん教育基盤創造プラン（第2期）最終評価について

がんプロ事務局長
近畿大学医学部附属病院
臨床研究センター 教授 福岡和也

第1回プロジェクト統括会議

司会…近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門 教授 中川和彦
挨拶…事業推進代表者
近畿大学学長 塩崎均



このプロジェクトも3期目になります。ひとえに皆様方のお力添えがあつてのことです。このプロジェクトに携わったおかげで、いろいろな方とお知り合いになることができました。違う分野の先生方と席を同じくしてお話していただけるのは、我々は人材養成することが目的ですが、プラスになることの多い会だと言えます。実際的には中川先生がいろいろなお話を配慮してやってくださっているおかげであるかと思えます。この会への評価は非常に高いものです。引き続きいろいろな形で良い人材を養成していただき、皆様方とともに力を合わせてやっていきたいと思います。

【今回のプランのポイント】
●多様化するニーズに対応した「個別化医療」を実践できる「がん専門医療人」を養成
●共同研究による「がんのゲノム情報に基づいたプレジジョン・メディスン

【今回のプランのポイント】
●多様化するニーズに対応した「個別化医療」を実践できる「がん専門医療人」を養成
●共同研究による「がんのゲノム情報に基づいたプレジジョン・メディスン



7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン（新がんプロ）について（概要）

文科省の方からは顕著な成果を挙げたとの評価を得ました。
第2期のプランの課題は①がんに特化した講座の新設②がん専門教育プログラムの改革③地域医療に携わることが国際的なリーダーシップを発揮する基礎と臨床をつなぐがん研究者の養成。以上4つでした。①に関しては大阪府立大学、近畿大学、神戸大学に4つの講座が誕生しました。②の専門資格の取得状況に関して64名が各職種の専門資格を取得しています。研究者養成部門、教育改革部門、地域医療部門として緩和ケア委員会が有機的に連携し、プラン全体としての取り組みを押し上げて進めてきて

近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門 教授 中川和彦



今回採択されました新しいがんプロの取り組みについて、ご紹介いたします。
今回は、多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プランです。がん診療のクオリティを高めるための人材育成を広範囲に行い、ライフステージに合わせたがん診療ができるような人材を育成しなさい、と言われています。

全てのことに対応できるようにプロジェクトを目指しました。7大学9学部が力を合わせて取り組みます。人材育成に関するニーズに応じていきたいと思っています。近畿圏の国公立大学の医学・看護学・薬学・理工学系の大学院研究科が相互連携し、

大学院生などを対象に、多様化する新ニーズに対応した個別化医療を実践できるがん専門医療人を養成することを目的としています。
3つのタスクフォースを立ち上げて、それぞれにすべての大学が関わり、事業を進めていくことになっております。

1. ゲノム・サイエンス（タスクフォース1）
遺伝力ウンセラ」養成を含めたがんゲノム医療の構築と連携大学間および産学官共同研究の推進（リーダー機関…近畿大学医学部）
ゲノム情報に基づくがんの個別化医療を実現するための基盤整備など
共同研究による「がんのゲノム情報に基づいたプレジジョン・メディスン」の推進

2. 教育イノベーション（タスクフォース2）
個別化医療を実現するための革新的な教育プログラムの開発の促進（リーダー機関…大阪府立大学大学院医学研究科）
従来の講義にゲノム医療に基づく個別化医療、小児がん・希少がんの医療に必要なプログラムの充実と強化

3. マルチパートナーシップ・アラリアンス（タスクフォース3）
地域医療機関、自治体・公的機関、がんサバイバーを含む患者会、NPO法人等との連携・支援体制を強化する（リーダー機関…神戸大学大学院医学研究科）
小児がん患者・家族に対する医療や支援の提供体制のさらなる強化
AYA世代、壮年層、高齢者といったライフステージごとに異なる身体的、精神的、社会的問題等に適切に対応することを目的として、様々な支援や緩和ケアを実践し、ライフステージに応じたがん対策を推

進できる多職種の医療人材養成
以上、3つのタスクフォースを立ち上げ、患者中心の個別化医療を実践できる多職種のがん専門医療人材の養成を目指します。

7大学連携個別化がん医療実践者養成プランに関する協定書

（趣旨）
第1条 この協定書は、大阪府立大学・大阪府立大学・関西医科大学・近畿大学・神戸市看護大学・神戸大学・兵庫医科大学（以下「7大学」という）が、7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン（以下「本プラン」という）を円滑かつ効果的に行うために、必要な事項を定める。（目的）
第2条 本プランの目的は、阪神地区の国公立7大学9学部の医学、看護学、薬学、理工学系大学院研究科が相互連携し、多様化する新ニーズに対応した個別化医療を実践できるがん専門医療人を養成することである。（実施体制）
第3条 本プランの実施機関は以下のとおりとし、近畿大学医学部を代表機関とする。
大阪府立大学大学院医学研究科
大阪府立大学大学院看護学研究科
関西医科大学
近畿大学医学部
近畿大学薬学部
近畿大学理工学部
神戸市看護大学
神戸大学大学院医学研究科
兵庫医科大学
（中略）
第5条 この協定は、平成29年7月18日から平成34年3月31日までの間有効とする。

（趣旨）
第1条 この協定書は、大阪府立大学・大阪府立大学・関西医科大学・近畿大学・神戸市看護大学・神戸大学・兵庫医科大学（以下「7大学」という）が、7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン（以下「本プラン」という）を円滑かつ効果的に行うために、必要な事項を定める。（目的）
第2条 本プランの目的は、阪神地区の国公立7大学9学部の医学、看護学、薬学、理工学系大学院研究科が相互連携し、多様化する新ニーズに対応した個別化医療を実践できるがん専門医療人を養成することである。（実施体制）
第3条 本プランの実施機関は以下のとおりとし、近畿大学医学部を代表機関とする。
大阪府立大学大学院医学研究科
大阪府立大学大学院看護学研究科
関西医科大学
近畿大学医学部
近畿大学薬学部
近畿大学理工学部
神戸市看護大学
神戸大学大学院医学研究科
兵庫医科大学
（中略）
第5条 この協定は、平成29年7月18日から平成34年3月31日までの間有効とする。

（趣旨）
第1条 この協定書は、大阪府立大学・大阪府立大学・関西医科大学・近畿大学・神戸市看護大学・神戸大学・兵庫医科大学（以下「7大学」という）が、7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン（以下「本プラン」という）を円滑かつ効果的に行うために、必要な事項を定める。（目的）
第2条 本プランの目的は、阪神地区の国公立7大学9学部の医学、看護学、薬学、理工学系大学院研究科が相互連携し、多様化する新ニーズに対応した個別化医療を実践できるがん専門医療人を養成することである。（実施体制）
第3条 本プランの実施機関は以下のとおりとし、近畿大学医学部を代表機関とする。
大阪府立大学大学院医学研究科
大阪府立大学大学院看護学研究科
関西医科大学
近畿大学医学部
近畿大学薬学部
近畿大学理工学部
神戸市看護大学
神戸大学大学院医学研究科
兵庫医科大学
（中略）
第5条 この協定は、平成29年7月18日から平成34年3月31日までの間有効とする。

（趣旨）
第1条 この協定書は、大阪府立大学・大阪府立大学・関西医科大学・近畿大学・神戸市看護大学・神戸大学・兵庫医科大学（以下「7大学」という）が、7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン（以下「本プラン」という）を円滑かつ効果的に行うために、必要な事項を定める。（目的）
第2条 本プランの目的は、阪神地区の国公立7大学9学部の医学、看護学、薬学、理工学系大学院研究科が相互連携し、多様化する新ニーズに対応した個別化医療を実践できるがん専門医療人を養成することである。（実施体制）
第3条 本プランの実施機関は以下のとおりとし、近畿大学医学部を代表機関とする。
大阪府立大学大学院医学研究科
大阪府立大学大学院看護学研究科
関西医科大学
近畿大学医学部
近畿大学薬学部
近畿大学理工学部
神戸市看護大学
神戸大学大学院医学研究科
兵庫医科大学
（中略）
第5条 この協定は、平成29年7月18日から平成34年3月31日までの間有効とする。

（趣旨）
第1条 この協定書は、大阪府立大学・大阪府立大学・関西医科大学・近畿大学・神戸市看護大学・神戸大学・兵庫医科大学（以下「7大学」という）が、7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン（以下「本プラン」という）を円滑かつ効果的に行うために、必要な事項を定める。（目的）
第2条 本プランの目的は、阪神地区の国公立7大学9学部の医学、看護学、薬学、理工学系大学院研究科が相互連携し、多様化する新ニーズに対応した個別化医療を実践できるがん専門医療人を養成することである。（実施体制）
第3条 本プランの実施機関は以下のとおりとし、近畿大学医学部を代表機関とする。
大阪府立大学大学院医学研究科
大阪府立大学大学院看護学研究科
関西医科大学
近畿大学医学部
近畿大学薬学部
近畿大学理工学部
神戸市看護大学
神戸大学大学院医学研究科
兵庫医科大学
（中略）
第5条 この協定は、平成29年7月18日から平成34年3月31日までの間有効とする。

（趣旨）
第1条 この協定書は、大阪府立大学・大阪府立大学・関西医科大学・近畿大学・神戸市看護大学・神戸大学・兵庫医科大学（以下「7大学」という）が、7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン（以下「本プラン」という）を円滑かつ効果的に行うために、必要な事項を定める。（目的）
第2条 本プランの目的は、阪神地区の国公立7大学9学部の医学、看護学、薬学、理工学系大学院研究科が相互連携し、多様化する新ニーズに対応した個別化医療を実践できるがん専門医療人を養成することである。（実施体制）
第3条 本プランの実施機関は以下のとおりとし、近畿大学医学部を代表機関とする。
大阪府立大学大学院医学研究科
大阪府立大学大学院看護学研究科
関西医科大学
近畿大学医学部
近畿大学薬学部
近畿大学理工学部
神戸市看護大学
神戸大学大学院医学研究科
兵庫医科大学
（中略）
第5条 この協定は、平成29年7月18日から平成34年3月31日までの間有効とする。

（趣旨）
第1条 この協定書は、大阪府立大学・大阪府立大学・関西医科大学・近畿大学・神戸市看護大学・神戸大学・兵庫医科大学（以下「7大学」という）が、7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン（以下「本プラン」という）を円滑かつ効果的に行うために、必要な事項を定める。（目的）
第2条 本プランの目的は、阪神地区の国公立7大学9学部の医学、看護学、薬学、理工学系大学院研究科が相互連携し、多様化する新ニーズに対応した個別化医療を実践できるがん専門医療人を養成することである。（実施体制）
第3条 本プランの実施機関は以下のとおりとし、近畿大学医学部を代表機関とする。
大阪府立大学大学院医学研究科
大阪府立大学大学院看護学研究科
関西医科大学
近畿大学医学部
近畿大学薬学部
近畿大学理工学部
神戸市看護大学
神戸大学大学院医学研究科
兵庫医科大学
（中略）
第5条 この協定は、平成29年7月18日から平成34年3月31日までの間有効とする。

（趣旨）
第1条 この協定書は、大阪府立大学・大阪府立大学・関西医科大学・近畿大学・神戸市看護大学・神戸大学・兵庫医科大学（以下「7大学」という）が、7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン（以下「本プラン」という）を円滑かつ効果的に行うために、必要な事項を定める。（目的）
第2条 本プランの目的は、阪神地区の国公立7大学9学部の医学、看護学、薬学、理工学系大学院研究科が相互連携し、多様化する新ニーズに対応した個別化医療を実践できるがん専門医療人を養成することである。（実施体制）
第3条 本プランの実施機関は以下のとおりとし、近畿大学医学部を代表機関とする。
大阪府立大学大学院医学研究科
大阪府立大学大学院看護学研究科
関西医科大学
近畿大学医学部
近畿大学薬学部
近畿大学理工学部
神戸市看護大学
神戸大学大学院医学研究科
兵庫医科大学
（中略）
第5条 この協定は、平成29年7月18日から平成34年3月31日までの間有効とする。

（趣旨）
第1条 この協定書は、大阪府立大学・大阪府立大学・関西医科大学・近畿大学・神戸市看護大学・神戸大学・兵庫医科大学（以下「7大学」という）が、7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン（以下「本プラン」という）を円滑かつ効果的に行うために、必要な事項を定める。（目的）
第2条 本プランの目的は、阪神地区の国公立7大学9学部の医学、看護学、薬学、理工学系大学院研究科が相互連携し、多様化する新ニーズに対応した個別化医療を実践できるがん専門医療人を養成することである。（実施体制）
第3条 本プランの実施機関は以下のとおりとし、近畿大学医学部を代表機関とする。
大阪府立大学大学院医学研究科
大阪府立大学大学院看護学研究科
関西医科大学
近畿大学医学部
近畿大学薬学部
近畿大学理工学部
神戸市看護大学
神戸大学大学院医学研究科
兵庫医科大学
（中略）
第5条 この協定は、平成29年7月18日から平成34年3月31日までの間有効とする。

看護の心とパワーで、大阪を一層「機嫌な街に!!」 国民の「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」

公益社団法人 大阪府看護協会 会長 高橋 弘枝



ないと思っています。

大阪の病院の7割は200床未満の中小病院ですが、そこで働く看護師たちを率いる看護部長の支援をしていくのも、看護協会の大きな役割の1つです。地域の医療を推進するには、中小病院の看護力を上げなくてはなりません。地域に根差した看護の力をしっかりと守っていかないと、地域包括ケアシステムの構築も成り立たないと思います。特にこれからの在宅医療では、より質の高い看護が求められています。

大阪府看護協会は、大阪府助産師会や大阪府訪問看護ステーション協会ともタッグを組み、看護職全体の質向上に取り組んでいます。

—— 重点項目を毎年出されていますが、今年はどうのようところがポイントでしょうか。

高橋 まず「全世代型の地域包括ケアシステムの構築の推進」。そして「看護職の人材育成及び役割拡大の推進」、「看護職の労働環境づくりの推進」です。看護師の質を向上させることともに誇りを持って働き続けることができる労働環境を考えていかなくては、と思っています。

大阪府看護協会では、大学や学会と協力しながら、国際的な医療提供に対応できる能力を持っている看護師を見出して、支援していきたいと思っています。日本の医療は世界でもトップレベルです。外国での経験が

点を向けていくと、マンパワーはもろい必要ですが、モノも必要になってくると思います。

さらにまた、地域包括ケアを進めるために看護師をどう配置していくのかは、大きな問題です。またその看護の質を高めなくては良いケアは提供できません。良いケアを提供していくためには、働く環境を作っていくことが、職能団体としての大きな役割です。そこに付随しているのが、国際看護やモノです。マンパワーには限界がありますから、その時にどのようなモノを使えばよいのか、患者さんにとっても医療者にとっても、安心安全の医療の提供が大切です。看護師として誇りを持って働いてもらうために、看護師のブランド力を上げていかなくてはなりません。

—— 在宅医療において、看護師さんにもっと権限を持たせた方がよいのではないかと思うのですが。

高橋 特定行為研修を受けた看護師は医師の指示の下、いろいろな行為が出来ますので、先生方の負担が大きく減りますし、何よりも患者さんがタイムリーに治療を受けることができます。裁量を広げていくことは非常に重要だと思います。しかし特定行為研修を実施している機関が、現在大阪府下では、公立大学法人大阪市立大学と社会医療法人愛仁会と社会医療法人きつこう会多根総合病院だけで、まだまだ足りません。国は2025年までに10万人の研修修了者を目指すそうですが、まだ10000人に達していません。

大阪府看護協会でも来年4月から特定行為研修を始める準備を進めているところです。働きながらeラーニングで勉強し、実習は集中して行い1年以内で習得できるものと考えています。先生方のご指導が必須ですので、是非ご協力いただきましたと思っています。

大阪府看護協会としては認定看護師の方々に特定行為研修を受けていただいで、それぞれの得意分野をさらに伸ばしてもらいたいと考えています。初めは病院で医師の指導の下、技術や確実な判断ができるようになれば、その後は医師の指示を先にいただいで、在宅領域で活躍してもらえようと思います。

訪問看護ステーションにそういった看護師がいて、かかりつけ医と連携して医療が提供できれば理想的です。今後は医療依存度の高い患者さんが地域に増えてきますので、実践力のある看護師が訪問看護に携わっていくことがベストだと思います。

—— 看護師さんの役割がどんどん広がっていきますね。

高橋 最近では学校看護師のニーズも多いです。子どもさんがNICUから卒業されて地域に戻ります。呼吸器を付けたまま成長されて学童になった時に、地域の学校で、医療を受けながら授業を受けたり、地域の人々と触れ合うことを望まれるケースが増えてきます。学校での吸引や栄養補給、導尿などの医療処置が必要になってきます。これは学校看護師の役割です。下校した後は自宅に訪問看護師が伺います。イブニングケアは特に重要です。医療依存度の高い方を引き受けるには、体制づくりが

重要で、看護協会は人材の育成にも力を入れていきます。看護師を必要としている場面が非常に増えています。例えばがんは今では、化学療法などの治療を受けながら仕事を続けていく慢性疾患です。仕事場でのようなサポートが必要になるのか。企業の中での産業看護職（保健師・看護師）の役割になります。就労支援、生活支援等々、産業界や社労士の方との連携も行いながら全て看護職の役目です。

最近問題になっているのが、看護師の派遣業です。非常に大きなお金が動いています。病院経営が圧迫されている感すらあるので、大阪府では「大阪府ナースセンター」を設置し、ハローワークと看護協会が連携して無料でマッチングして紹介する事業を行っています。潜在看護師の復職を第一の目的に、各地で就職説明会なども始めました。

これからも大阪府民の安心安全な暮らしを守り、公益性の高い事業展開と風通しの良い、見える組織運営に努めていきたいと考えています。

◆高橋 弘枝 (公益社団法人大阪府看護協会 会長)

【略歴】

- 昭和55年3月 大阪大学医療技術短期大学部 看護学科 卒業
- 昭和56年3月 大阪大学医学部附属助産師学校 卒業
- 平成20年3月 大阪教育大学大学院教育学研究科修士課程 修了
- 昭和56年4月 大阪厚生年金病院に助産師として就職
大阪厚生年金看護専門学校 専任教員、教務部長を経て
大阪厚生年金病院 看護師長、副看護部長、看護部長
*改組により大阪厚生年金病院から
独立行政法人地域医療機能大阪病院に変更
独立行政法人地域医療機能大阪病院 看護部長
- 平成27年4月 独立行政法人地域医療機能推進機構本部
企画経営部医療副部長(看護担当)を歴任
- 平成28年6月 大阪府看護協会会長、日本看護協会地区理事に就任
現在に至る

【資格】

看護師免許、助産師免許、認定看護管理者

質の高い医療を提供できる病院、皆に開かれた信頼される病院

一般財団法人甲南会 甲南病院 神戸市東灘区 院長 具英成ぐ えいせい



具 平成29年1月より甲南病院の院長に赴任いたしました。

「Konan事業ビジョン2020」に向けて、平成26年に神戸大学と甲南病院グループで連携推進委員会を立ち上げ、私もその委員として連携協議を重ねてきました。

昭和9年に平生鈆三郎氏によって開設された財団法人甲南病院は、阪神大水害や第二次世界大戦など幾多の危機を乗り越え、当初118床だった病院は、昭和62年には400床に増床、その後も平成4年に六甲アイランド甲南病院(307床)、平成12年には国立加古川病院の移譲を受けて甲南加古川病院(250床)、そして引き続き六甲アイランドに甲南介護老人保健施設(80床)と甲南訪問看護ステーションが開設され、5施設の甲南病院グループになりました。人類愛の精神に基づき、あらゆる点において病人を本位とした「悩める病人のための病院たらん」という創立者の思いを基本理念として掲げています。現在、さらなる飛躍を計画中の甲南病院、具院長にお話を伺いました。

具院長は、今年からのご就任ですね。院長としての抱負や考え方を教えてください。

新甲南病院に向けて 建て替えのプランが進められる

甲南病院は文部大臣まで務められた平生鈆三郎氏が、営利本位に陥らず富める患者も貧しい患者も名医の治療や手術が受けられる病人本位の病院として昭和9年に創設した病院です。83年の歴史を持つ病院ですが、建物の老朽化は否めません。非常に頑強な岩盤の上に建っているため、阪神大震災の時にもびくともしなかった建物ではありますが、今後に向

けて耐震化が必須とされています。そこで老朽化した甲南病院の本館と南館を建て替え、他の既存館も改修して全面リニューアルを行うことになりました。この病院は山手にあるので、アクセスが良しとは言えませんが、いったん登ってしまえば非常に眺めの良い療養には最適の環境です。

甲南病院と 六甲アイランド甲南病院を統合する理由

甲南病院も六甲アイランド甲南病院も急性期病院です。直線距離で僅か5kmの距離に2病院が立地していますが、どちらも急性期病院なので多くの医療内容が重複、人員や設備(医療機器)が二重投資になっています。そこで急性期医療は甲南病院に集約して、六甲アイランド甲南病院は救急を含む外来診療と回復期リハビリ病床を主体とし、2病院を機能分化させていくというイメージ



甲南病院



新甲南病院 完成予想図

医療とは心技一体 高レベルの技術と 意気込みが必要

建物の建て直しだけでなく、その他のハード面そしてソフト面の構造改革を行って、医療の質を上げていきたいと考えています。甲南病院では本年から若手中堅医師の増員が進み、2病院の連携と統合が一步一步進んでいます。新甲南病院は総合的な医療を行える480床の病院にすることで、

ジです。現在380床の甲南病院は480床の急性期病院に、307床の六甲アイランド甲南病院は181床の回復期中心の病院と転換し、計661床の病院として、一体化した医療を行っていきます。機能分化と統合を進めて、地域の医療ニーズに添えていきたいと思えます。工程はI期が2019年6月、II期は2022年1月に完工する予定です。

活力のある若手医師に選ばれた病院にしたいと思っています。医療は中身です。温かい心のある医療、しかし心だけでもダメです。私は外科医ですが、医療とは心技一体で、レベルの高い技術と、不可能を可能にするような意気込みを持つてこそ良い医療を体現することができると思えます。これが私のモットーです。そういう病院を目指したいのです。医療は人材が全てです。

神戸大学の 東部拠点病院として 東灘を超えて 地域医療を支える

神戸大学の東の重要拠点病院として連携を一層強化し甲南病院と六甲アイランド甲南病院の診療、教育のレベルアップを実現し、東灘の基幹病院として誰もが安心できる高品質医療に取り組んでいきたいと考えています。

東灘区の住民だけでなく、地域を越えて神戸市、芦屋市そして兵庫県全域の皆様の期待に応えたいと考えています。患者さんも家族も友人もどなたにも安全安心で最善の医療がここにある、と納得してもらえる病院にしていきたいです。また職員が自分や家族のために選ばれる病院でありたいと思います。

ありがとうございました。

◆具英成(ぐ えいせい) プロフィール

- 1977 神戸大学卒業 神戸大学医学部附属病院医員
- 1981 米国留学 テネシー大学
- 1987 神戸大学医学部附属病院助手
- 1992 神戸大学医学部附属病院講師
- 1999 神戸大学医学部外科学第一講座助教授
- 2005 神戸大学医学部教授
- 2007 神戸大学肝胆膵外科学教授(外科学講座主任教授) 神戸大学大学院教授
- 2012 神戸大学医学部附属病院 移植医療部長
- 2017 甲南病院 院長

日本外科学会、日本消化器外科学会、日本消化器病学会など国内外の理事、評議員を多数歴任

※消化器外科を極め、肝胆膵外科を専門に肝がん、胆道がん、膵がんなどに対して、高難度肝切除、膵頭十二指腸切除、生体肝移植、脳死肝移植などをこの10年で約1500例以上執刀、高品質で安全な手術成績を達成しています。

ドクターズ・イン・シネマ93

今回は古い作品ですが、宇宙空間を舞台にしたSF「サイレント・ランニング」(1972)です。低予算で作られたらしく、ブルース・ダーンという脇役専門の役者が主演ですが、なかなか見所が多い佳作でした

物語は21世紀の半ば、地球の環境を保存するために宇宙ステーション内にセットされ、次々打ち上げられます。その一つ、4人の飛行士の任務は「植物保存」。当初の目的ややる気はいいんですが、ステーション勤務も8年も経つと飽きて来る。ポーカーや飽食ばかりで、関係もギスギス。ただ一人ブルース・ダーンだけは「俺、この任務が気に入ったよ」と真面目に励む。



そして地球からの指示「計画断念」「全てを時限装置で爆破して帰還せよ」を受信。喜ぶ3人に対しダーンは断固反対。とうとう争いになり、ダーンは襲ってきた3人をやっつけてしまい、船内で一人生き残る。

もともと飛行士の作業はほんの僅かで、ほとんど3台の作業用ロボットが実行してくれていた。彼等は「指示マニュアル・カセット」の差し替えにより、複雑な行動もこなす優れ物ロボット。

ここからが感動のシーンです…。争いで傷ついたダーンはロボットに「治療マニュアル」を差し込む。するとロボット達がダーンの周囲に集まり、「傷口を観察→医療キットからの器具の取り出し→血の洗浄→消毒→薬の塗付→針と糸での縫合→ホータイ」と実行。ロボット達はヨタヨタと歩き、ボンボンと話し合い、ノソノソと動きますが、治療作業は実に丁寧で見事。

どうでしょう、「人間を治療するロボット」が映像化されたのは(今から)45年前のこの映画が初めてではないでしょうか。今でこそ「介護ロボット」や高度な手術用の「ダヴィンチ」などが開発されていますが…この作品に出てきたのには驚きました。しかもその動きが実に素朴でかわいく、患者のダーンも名演技しつつ感動しているのがこちらに判る。

脚本・監督のダグラス・トランブルは、スタンリー・キューブリックの「2001年宇宙の旅」(68)やロバート・ワイズの「アンドロメダ」(71)の特撮を手掛けた優れ者。今のCG技術よりタドタドしい感じは否めませんが、愛情と機智がこもっている。

裏話ですが、ロボットの名前がドナルドダックの3匹の子のヒューイ、デューイ、ルーイを取っているとか、撮影に使った退役空母・ヴァリーフォージの名前をそのままステーションの名にしているとか、遊び心にも充ちています。

ダーンはヒューイ達のカセットを「プレー」に差し替え、ポーカーをして独り負けしたり、「作業」に替えて、枯れかけた植物に光を当てる工夫をしたり、共同体を創ります。…さて、そのフィナーレはどうなるのでしょうか?

(白井松器械・白井秀明)

御良縁

心から祝福される御縁が結ばれますよう
御入会は一度御面談の上とさせて頂いております。
—— 創業34年 ——

〔男性〕医師 他 〔女性〕神戸女学院・聖心女子・同志社 他(在学中も可)
京阪神在住 医師・薬剤師 他
30歳前後 28歳位迄

案内書送付

(京大OB)ときわぎかい
常磐樹会

10時～5時 月曜日休み
(06)6365-8688
大阪市北区(梅新交差点)

薬用・食用植物画④



ナツメ Chinese jujube

原産地はヨーロッパ南東部～アジア南部の落葉小高木で、日本には中国から渡来したものが栽培されてきたと言われているが「万葉集」にも登場していることから渡来は古い。

高さは10m位までに生育し、初夏～盛夏の開花期に淡緑色の小花を咲かせ、秋には、果実(核果)を実らせる。淡緑色から、赤味を増し、赤黒くなる頃には甘みも増してくる。生果実の果肉は白色で甘酸っぱくリンゴに似た風味がある。

利用法と効能

利用されるのは果実で、生のまま食べたり乾燥させて食べたり、甘みを加えて煮たり、ホワイトリカーに実を漬けたナツメ酒などは滋養、強壮、緩和、鎮静、利尿などの目的に多くの漢方薬に処方されている。

中国では乾燥された果実を粥に入れたり、薬膳での利用も多くされている。

関西電力とご契約いただいているお客さまの、**省エネルギー・省コスト・環境性向上に向けた取り組みを無料でお手伝いします。**



ヒアリング

お客さまの現在の状況について、丁寧にヒアリング

〔例〕省エネ取り組み状況、エネルギーご使用状況、設備概要(仕様・運用実態等)、お客さまニーズ 等

データによる分析

データを活用し、エネルギーのご使用状況を分析

〔例〕電気のご使用実績、お客さま保有BEMSデータ、その他エネルギーご使用実績 等

設備調査 設備診断

設備の調査・診断により、運用状況を把握

〔例〕簡易コンサルティング(ウォークスルー)、データ測定(圧力、電力、流量、温度等)、放熱測定(サーモカメラ等)、設備稼働状況(短周期、同時性のあるデータ) 等

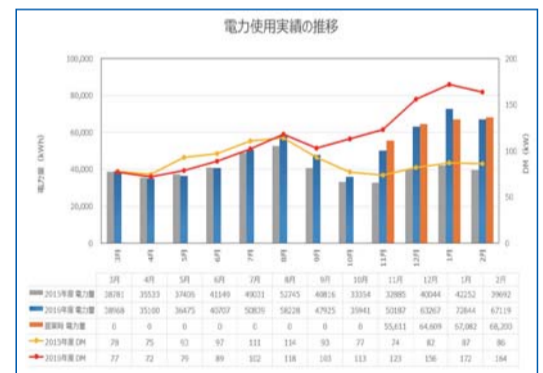
ご提案

改善方策・設備改修計画をご提案

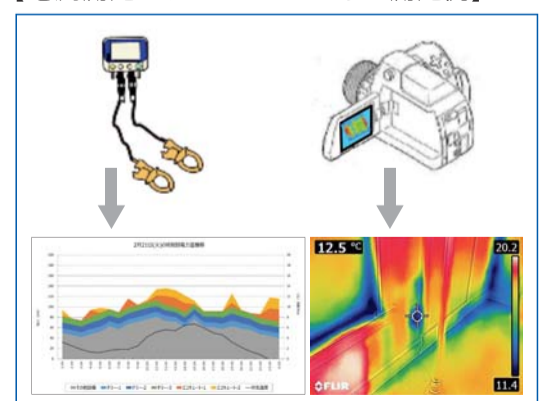
〔例〕設備の運用改善のご提案、設備改修のご提案(設備改修ロードマップ)

運用変更後の効果検証も実施させていただきます。

【電気ご使用実績「見える化」】



【電流測定とサーモカメラによる測定例】



＜関西電力ホームページ/法人のお客さま＞
<http://kepcop.jp/biz/setsuden/>

関西電力 省エネ・節電に役立つ情報

検索

民間病院の良さを活かして、地域から信頼され、人に優しい医療の提供を

医療法人尚和会 宝塚第一病院 理事長・院長 那須 範満



たもの)の上映会や講演会(地域交流会)を予定しています。

昭和42年の開設以来、宝塚第一病院は24時間体制で患者さんを受け入れ、いつでも診てもらえる救急病院として評価をいただけてきました。最近では宝塚市立病院が救急に力を入れて、市内の救急搬送の3分の2を受けようになりましたが。

周囲をとりまく医療情勢は大きく変化しています。その一つが超高齢社会です。これからも地域の皆さんに安心して生活していただくためには、医療・介護の連携が重要となってきます。当院は急性期病院で、199床が急性期の病床です。隣接する宝塚リハビリテーション病院が162床、老健としてケアヴィライイ丹(120床)とケアヴィラ宝塚(100床)があり、法人全体としての病床数は約600床になります。急性期、回復期、維持期の流れはできています。さらに近隣の医療機関や介護・福祉施設との連携を強化し、急性期病院としては地域の医療ニーズにこたえられるよう、最新の設備の導入やスタッフの充実に努めています。

昭和42年に35床で開設された大室病院は、昭和47年に医療法人尚和会となり昭和51年には現会長の大室備先生が院長に就任されます。翌年には111床の医療法人尚和会第一病院に、平成15年には、一般1991床+療養20床計211床(現在は199床)の医療法人尚和会宝塚第一病院となります。今年50周年を迎えた同病院ですが、その間、常に24時間体制で救急医療に当たってこられました。6年前に理事長・院長に就任された那須範満先生にお話を伺いました。

開設50周年、おめでとうございます。いろいろなイベントがあると聞きしましたが。

那須 今年の7月17日に50周年を迎えました。当日は内輪で記念行事を行いました。その後職員に対して秋には大運動会、年末には忘年会などを大々的に行うことを計画中です。また職員は850人くらいいますが、せっかくなのでこの機会にと、宝塚歌劇の観劇を6回に分けて行いました。さらに患者さんや地域住民に向けて、映画(介護をテーマにし

震災 その時第一病院は、(人がひとを救うという事)という本にまともな本は学術ベースとして国会図書館やアメリカ議会図書館に所蔵されています。その時のエピソードでは、非番の職員までも含めて皆が駆けつけてくれたことが強く心に残っています。自分の家が被災した職員も少なくなかったのに、皆、病院を心配して来てくれました。職員がいつでも患者さんのことを考えていることが印象的でした。

そして建物を建て替えた時に、療養型を併設しました。また平成12年には介護保険が始まりましたから、介護施設が必要であると考え、老健施設を2つ建てました。平成13年のことでした。そしてリハビリテーション病院を作ったのが平成20年です。リハビリテーションと言いますと、今までは患者さんをごくこの階にある広いリハビリ室に、スタッフが連れていくのが普通でした。当院では各階でリハビリができるようにしています。移動時間の無駄をなくしたことは画期的だと思います。リハビリテーション、回復期に關してはまだまだこれから需要があると思います。

50年の歴史の中で印象に残っていることはありますか。

那須 一番大きな転機は、平成7年の阪神淡路大震災でした。市内でも多くの患者さんを受け入れたのが当院でした。当院も大きなダメージを受け、その後病院は建て替えることになりました。震災時の記録は『阪神大

震災 その時第一病院は、(人がひとを救うという事)という本にまともな本は学術ベースとして国会図書館やアメリカ議会図書館に所蔵されています。その時のエピソードでは、非番の職員までも含めて皆が駆けつけてくれたことが強く心に残っています。自分の家が被災した職員も少なくなかったのに、皆、病院を心配して来てくれました。職員がいつでも患者さんのことを考えていることが印象的でした。

年と西宮税務署から表彰を受けています。医療法人としてはかなり珍しいことだと思えます。30年近く黒字にして一定以上の税金をきちんと納めているということのようです。逸脱することなく、地域の医療介護に貢献していると言えるのではないかと自負しております。

199床の急性期病院が救急をずる場合、当初とは大きく変わってきています。まず、患者さんサイドからは専門性を求めてきます。頭を打ったと言くと、脳外科の医師がいるのかどうか、とか。昔でしたら1人の医師がどんな患者さんでも診ていました。しかし今はそれが難しくなっています。とは言っても、全ての科の医師を置いておくことはできませんし、当直の先生の専門は決まっています。救急医療に携わっていく上で、この辺りが非常に難しいです。コメディカルを揃える必要もありますので、救急医療には多くの人件費がかかります。今の診療報酬ではなかなか厳しくなっています。市民病院では赤字になり税金を使っても救急をさめますから、民間病院としては太刀打ちできません。新しくできた兵庫県立尼崎総合医療センターでもかなりの救急を受け入れていて、尼崎市内の民間病院もかなり影響を受けていると聞いています。救急は利益率が低いですが、民間病院にとってはリスクの方が大きいものになってしまっています。

こちらの病院はいろいろな表彰を数多く受けられていますね。

那須 少し自慢になりますが、当医療法人は「優良申告法人」として、1989年から1994年、1999年、2004年、2009年、2014

年と西宮税務署から表彰を受けています。医療法人としてはかなり珍しいことだと思えます。30年近く黒字にして一定以上の税金をきちんと納めているということのようです。逸脱することなく、地域の医療介護に貢献していると言えるのではないかと自負しております。

ていく必要があります。循環器に特化する、あるいは脳外科に特化する、というようなことです。当院でもこれからは整形外科を主にやっていこうと考えています。199床で何でも診る救急というのはもう、民間病院には少し難しいですね。これからは人口も減ってきますし、高齢者の救急では認知症の患者さんも多く、手がかかります。また高齢者は1つの病気だけではありません。DPCではカバーしきれませんが、在院日数が長くなると経営に影響してきます。今の診療報酬では経営上難しい点がたくさん出てきています。そこで199床のうちの半分を地域包括ケア病棟に変えました。急性期だけでは難しいので回復期です。看護必要度など、いろいろな点で急性期を維持することが難しくなっています。宝塚、伊丹、川西、猪名川、三田を北阪神圏域と言いますが、急性期が多くて回復期が足りません。高度急性期は兵庫医大や尼崎総合医療センター、関西労災病院など南阪神圏域に集中しています。阪神圏域全体ではバランスが取れているようですが、南北では少しアンバランスです。

救急医療には1次、2次、3次とありますが、当院では2次までをしていますが。最近では開業医の先生が夜間や休日の診察をしておられませんか。頭を怪我して出血していたらほっておくわけにはいきません。しかし救命センターに行くも

救急医療 救命救急 だけではない 救急医療

国公立の病院は赤字でも続きますからね。

那須 おそらくどんなに頑張っても赤字にはならないと思います。今の救急医療の問題点です。民間病院が生き残っていくためには、守備範囲を狭めていかなければなりません。特化し

民間病院の良いところ、活力を 活かしてこそ成り立つ 日本の医療

公立病院と民間病院のバランスが大切です。公立病院が税金を使って民間病院を圧迫してはいけません。民間病院の良いところは小回りが利くことです。今の日本の医療制度を考えると民間病院をうまく活用しているから成り立っています。公立病院ばかりでは赤字ばかりで大変です。民間がバランスよく機能しているからこそ、今の医療制度が回っています。民間病院の犠牲的精神が大きいです。民間病院のことを大切に考えてもらいたいですね。民間の活力、良さをいかに残していくのか、考えていかなければならないと思います。

◆那須 範満 プロフィール

- 昭和45年 3月 大阪大学医学部 卒業
- 昭和45年 6月 医師免許取得
- 昭和45年 7月 大阪大学医学部 整形外科
- 昭和46年 1月 大阪大学医学部 麻酔科
- 昭和46年 7月 関西労災病院 整形外科
- 昭和47年 7月 大阪厚生年金病院 整形外科
- 昭和52年 7月 大阪大学医学部附属病院
- 昭和55年 4月 大阪府立成人病センター
- 昭和55年 7月 医学博士(大阪大学)
- 昭和56年 8月 医療法人尚和会 第一病院
- 昭和56年 9月 西ドイツ ハイデルベルグ大学出張(昭和57年8月帰国)
- 昭和57年10月 医療法人尚和会 第一病院 副院長
- 平成13年 6月 医療法人尚和会 第一病院 院長
- 平成15年 4月 (医療法人尚和会宝塚第一病院に名称変更)
- 平成23年 3月 医療法人尚和会 理事長 兼 宝塚第一病院 院長

兵庫県民間病院協会 監事、西宮労災指定医協会 理事、宝塚市医師会 認定委員

地域の安心・安全の医療に加えて 国際貢献および大規模災害に対応



自衛隊阪神病院(川西市) 病院長 兼 川西駐屯地司令陸将補 **三丸 敦洋**

みつまる あつひろ

自衛隊病院とは、防衛省が設置・運営する陸・海・空自衛隊の共同機関である自衛隊中央病院と、自衛隊地区病院(全15病院)の総称です。自衛隊病院の利用対象者は、基本的に防衛省職員(自衛官及び、事務官・技官)とその家族、つまり防衛省共済組合の被保険者に限定されていますが、現在、北から札幌、仙台、富士、中央、横須賀、阪神、福岡の7自衛隊病院では一般の方の診療も行われています。自衛隊阪神病院の病院長、三丸陸将補にお話を伺いました。

—— 自衛隊病院の中でどのようなお仕事をされてこられたのでしょうか。

三丸 私は昭和60年に防衛医大を卒業しまして、その後2年間防衛医大と世田谷にある自衛隊中央病院で総合臨床医を作るための初任実務研修を受け、その後2年間は四国の善通寺にあった陸上自衛隊第2混成団司令部の医官を務めました。この頃から防衛医大の卒業生は研修明けの医官の約半分が、部隊に出るようになっていきました。その後は防衛医大の胸部外科で専門研修(2年)を受け、市ヶ谷の駐屯地で医務室の診療医官を務め、平成5年からは国内留学で慶應義塾大学の医学研究科(外科学専攻・心臓血管外科)に4年間行きました。その後は2年間、厚生省に就任したり、1年間、慶應義塾大学医学部外科心臓血管外科のチーフレジデント研修をさせてもらったりしました。この研修の時期が一番手術症例の経験が多かったと思います。その後は自衛隊中央病院の心臓血管外科に所属、さらに救急医長や診療庶務室長などを務めました。自衛隊中央病院が建て替えの際

には電子カルテ導入の準備の長を務めたり、企画の副室長を務めたり、医師としての仕事ではないことにも多く携わって来ました。その後は陸上幕僚監部衛生部医務保健班長、東部方面総監部医務官などを経て、防衛大学の衛生課長、自衛隊中央病院の救急科部長、診療技術部長の後、昨年4月から陸将補として自衛隊阪神病院長兼川西駐屯地司令を務めております。心臓血管外科と循環器を専門としていますが、かなり多種多様なことをしてきました。

—— 自衛隊病院はどのような経緯で作られたのでしょうか。

三丸 国立病院は昔の陸軍病院の流れを汲むといったところが多いのですが、自衛隊病院は軍の病院とは切り離されています。1950年に組織された警察予備隊が、1952年に保安隊に改組されて1954年に自衛隊になりました。病院は警察予備隊の時からあり、それが今の自衛隊病院の基になっています。長崎県の針尾駐屯地に作られた警察予備隊第823救急病院が、広島県の福山に移駐されて、そこで保安隊の救急病院となります。昭和29年に自衛隊福山地区病院となり、昭和41年に川西駐屯地に移ってきました。他に札幌病院や中央病院も福山病院が基になっています。

川西駐屯地では陸上自衛隊阪神地区病院として開設、昭和63年から現在の自衛隊阪神病院として陸海空3自衛隊の共同機関化され、今年52周年を迎えました。「自衛隊の中部地区の基幹病院として、質の高い医療を提供し、隊員・家族及び地域の皆さまに信頼される病院を目指すこと」を病院理念として、平成23年4月から保険医療機関

化された後は、それまでの隊員と家族だけを診る職域病院から、地域住民にも受診していただくことのできる病院となり、その結果、自衛隊OBにも退職後も継続的な医療を提供することが可能になりました。

—— 自衛隊病院の役割は?

三丸 地域における自衛隊病院の役割としては、第一には災害対応や有事対応が本来任務です。しかしオープン化もしていますので、地域医療にも貢献していきたいと思っています。まだまだ地域に浸透しているとは言えませんので、折あるごとに一般の方も受診できることをお知らせするようにしています。ホームページでもリニューアルしました。川西市の医師会にも参加しています。

—— 災害時には派遣もされるのですか。

三丸 当院の職員は自衛隊職員として、外来・入院診療のみならず、中部方面隊内の医務室診療支援、健康診断、救護支援、災害派遣、国際平和協力活動という多様な任務を果たしています。熊本地震の時にも派遣しましたし、南スーダンへのPKOにも要員派遣しました。DMAT関連の災害訓練にも積極的に参加しておりますので、少しずつ連携が取れてきたように思います。兵庫県災害医療センターや地域の災害拠点病院などと連絡を取り合っており「顔の見える関係」を構築していきたいと思っています。7月には、内閣府主催の兵庫県、大阪府、和歌山県、三重県の4県で大規模地震時医療活動訓練が行われました。この訓練は、本来災害拠点病院だけが参加するものでしたが、当院にも声をかけていただきました。

た。阪神大震災以降、自衛隊の衛生支援態勢も大きく変わりました。それまではある意味受け身だったのですが、病院に救護班を常時置いて、何かあったら派遣できるようにと、全国の自衛隊病院で徹底されています。ただDMATとは異なる任務を持ち、情報ツールも違いますから、そこを仲介できるのは病院じゃないのではないかと思います。やっと1歩進めたところです。今年の2月に名古屋で開催された第22回日本集団災害医学会総会(会長・愛知医科大学災害医療研究センターの中川隆教授)のポスターで、災害で活躍するDMAT達と共に迷彩服の自衛隊員のイメージを入れていただけました。これは非常に嬉しいことでした。当院は災害拠点病院ではありませんから、逆に災害時に被災者が押し寄せるところは少ないかもしれません。その立場で何ができるのか、模索しているところです。今回の訓練では、病院に来たDMAT隊員に自衛隊が災害の時に使う箱型の救急車なども実

—— 心強いお話ですね。ありがとうございます。



第22回日本集団災害医学会総会のポスター「絵:なかわかりさ」

◆三丸 敦洋(みつまる あつひろ) プロフィール

- 昭和35年 東京生まれ
- 昭和60年 防衛医科大学校医学科(第6期生)卒業(2等陸尉)
初任実務研修(防衛医科大学校および自衛隊中央病院)
- 昭和62年 陸軍自衛隊第2混成団本部(医官)
- 昭和64年 (1等陸尉)
- 平成元年 防衛医科大学校第2外科(胸部外科)専門研修
- 平成3年 陸上自衛隊市ヶ谷駐屯地業務隊衛生科(診療医官)
- 平成5年 国内留学:慶應義塾大学医学研究科(外科学専攻心臓血管外科)(3等陸佐)
- 平成9年 厚生省出向(厚生省保健医療局疾病対策課兼医政局指導課 課長補佐→厚生省保健医療局エイズ疾病対策課 課長補佐)
- 平成11年 防衛省出向 陸上自衛隊(2等陸佐)
自衛隊中央病院第4外科(医官)
自衛隊中央病院付 慶應義塾大学医学部外科心臓血管外科医長補佐(チーフレジデント)
- 平成12年 自衛隊中央病院 第4外科(心臓血管外科)医官
- 平成13年 自衛隊中央病院 外科(救急)医長
- 平成14年 自衛隊中央病院 医長代表(1等陸佐)
- 平成15年 自衛隊中央病院 診療科 診療庶務室長
- 平成16年 自衛隊中央病院 企画室 副室長兼第4外科
- 平成18年 陸上幕僚監部衛生部 医務保健班長
- 平成19年 東部方面総監部 医務官 兼 自衛隊中央病院
- 平成21年 防衛大学校 総務部 衛生課長 兼 自衛隊中央病院
- 平成22年 自衛隊中央病院 救急科部長
- 平成27年 自衛隊中央病院 診療技術部長(陸将補)
- 平成28年 自衛隊阪神病院長 兼 川西駐屯地司令